副産物産店 × アートプロデュースコース1年生　アートプロデュース入門演習2発表展示

UMA/UFO

調査プロジェクト展 RESEARCH PROJECT EXHIBITION VOL.2



チャンネルを
合わせると、
視えてくる。

2026

11.16(Mon)ー11.28(Sat)

10:00–17:00(入館は16:40まで)　入館無料／※日曜、11月19日(木)・20日(金)・23日(月・祝)休館

京都芸術大学 芸術館

人間館ギャルリ・オーブ2階

副産物産店 Byproducts Market

日常に潜む
UMA、UFOの存在に
あなたは気づいているだろうか！

大学の廊下やエントランス、教室や研究室。普段何気なく通り過ぎる場所に、実は数多くの謎が潜んでいる。いつからそこにあるのか、誰がつくったのか、なぜ置かれているのか。見慣れた絵画や彫刻でさえ、その正体を知る人は意外なほど少ない。昨年に引き続き、第２弾となる「UFO/UMA調査プロジェクト展 vol.2」を開催する。今回も副産物産店とアートプロデュースコース１年生が調査チームを結成し、大学の日常に潜む未知の存在を追いかける。

調査対象のひとつは、京都芸術大学芸術館が「学園美術品」として調査・管理する作品群。これらを UMA（Unknown Memorial Art/ 未確認美術品）と名付け、その来歴や謎を調査し、知られざる姿を芸術館で公開する。

もうひとつの調査対象は、学内の工房や廃材置き場に眠っていた UFO（Unknown Fukusanbutsu Objects/ 未確認副産物）。何かをつくる過程で生まれた、素材以上作品未満の不思議な物体たち。普段は見過ごされ、時には捨てられてしまうそれらを採取し、学生たちが独自の視点で調査。調査ファイルとともに体験型インスタレーションとして展示する。

昨年から続く調査によって、果たして新たな発見はあるのか。見慣れた日常のすぐそばに広がる、未知なるUMAとUFOの世界。あなたも、その目で確かめてほしい！

【展示される学園美術品】

- 井田 彪 《air to air 一望》
- 中小路 萌美 《のんのんの》
- 森本 玄 《水のかたちのように ― 遠い雨》
- 木村 克郎 《「場 ・ 跡」No.13》
- ミロのヴィーナス像
- 作者不詳 人面壺（仮称）
- 作者不詳 大天使ガブリエルの風見鶏（仮称）

【学園美術品】

京都芸術大学が所蔵する芸術館所蔵品および学園収蔵品を「学園美術品」と呼ぶ。これらの美術品・資料の情報をデータベースにして、広く教育活動や文化芸術活動に資するよう体系的に公開・発信している。また、来歴不明作品に関しては芸術館のウェブサイト等で作品の情報を募っている。

京都芸術大学
学園美術品
データベース

瓜生山学園
来歴不明作品
について

UNKNOWN MEMORIAL ARTS 未確認美術品

芸術館が調査・管理する「学園美術品」のなかでも、作者や来歴などに未解明の部分がある作品や、日常の風景に溶け込み、その存在があまり意識されていない「知られざる学園美術品」のこと。

UNKNOWN FUKUSANBUTSU OBJECT 未確認副産物

芸術大学の作品制作の過程で副次的にうまれる魅力的な物体のこと。試作品や失敗作、習作などのうち不要になって廃棄されたものや放置された「素材以上作品未満の未知の存在」のものを指す。

本企画は京都芸術大学美術工芸学科アートプロデュースコース1年生の授業「アートプロデュース入門演習」と芸術館との連携展として企画。授業を通して展覧会づくりを実践的に学ぶことを目的にしている。今年はアーティストユニットの副産物産店、デザイナーの水迫涼汰が講師を務め、展覧会の企画からディレクション、制作、デザイン広報まで展覧会の裏側を学生に公開しながら実践的な授業をおこなっている。

2026年11月16日（月）〜28日（土）
10：00〜17：00（入館は16：40まで）

会場：京都芸術大学　芸術館（人間館ギャルリ・オーブ2階）
入館無料／※日曜、11月19日（木）・20日（金）・23日（月・祝）休館

キュレーション：副産物産店（山田毅+矢津吉隆）
デザイン：水迫涼汰
協力：京都芸術大学　芸術館（梶原誠太郎）
主催：京都芸術大学美術工芸学科アートプロデュースコース、京都芸術大学　芸術館

副産物産店　BYPRODUCTS MARKET

2017年に矢津吉隆（kumagusuku）と山田毅（只本屋）の二人の“店”を表現媒体とする美術家によって結成されたアートユニットでありアートプロジェクト。アーティストのアトリエから出る廃材を“副産物”と呼び、それらを活用・流通させるなかで、物の価値や意味を問い直す活動を展開。展覧会やイベント出店、ワークショップのほかに、大学や行政、企業と連携した資材循環の仕組みづくりを行なっている。主な展覧会に「アブソリュート・チェアーズ　現代美術のなかの椅子なるもの」埼玉県立近代美術館・愛知県美術館（2024）、ATAMI ART GRANT2024（2024）、MIND TRAIL2023（2023）やんばるアートフェスティバル2019-2020（2019）など。京都を拠点に活動。

矢津 吉隆（やづ よしたか）　美術家、kumagusuku 代表
1980年大阪生まれ。京都市立芸術大学美術科彫刻専攻卒業。京都芸術大学美術工芸学科アートプロデュースコース准教授。ウルトラファクトリープロジェクトアーティスト。京都市立芸術大学芸術資源研究センター客員研究員。

山田 毅（やまだ つよし）　美術家、只本屋 代表
1981年東京生まれ。2025年京都市立芸術大学大学院博士後期課程修了。京都市立芸術大学、京都芸術大学、京都精華大学非常勤講師。ウルトラファクトリープロジェクトアーティスト。京都市立芸術大学芸術資源研究センター客員研究員。